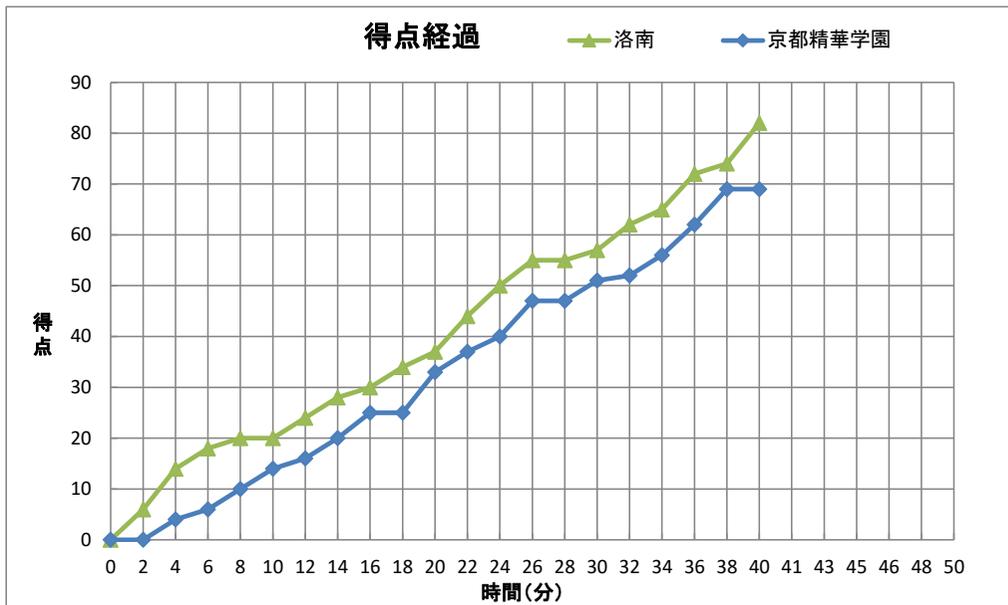




第42回京都府高等学校選手権大会 兼
第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

男子		10月29日		13:20 開始													
決勝リーグ		島津アリーナ京都		M													
◎ 洛南	82	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>18</td></tr> </table>	20	1st	14	17	2nd	19	20	3rd	18	25	4th	18	69	京都精華学園	
20	1st	14															
17	2nd	19															
20	3rd	18															
25	4th	18															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	西村 渉	7	1	2	0	3		金井 奏太	-	-	-	-	-				
* 5	星川 開聖	22	1	9	1	1		矢野 陽向	2	0	1	0	1				
* 6	三浦 健一	29	3	9	2	1	*	上野 叶翔	8	0	3	2	2				
7	波多野 心優	-	-	-	-	-		阿比留 楓斗	-	-	-	-	-				
* 8	辻 永遠	10	2	2	0	3	*	鈴木 瑛晶	0	0	0	0	0				
9	天野 幹也	0	0	0	0	1		新開 温矢	2	0	1	0	0				
* 10	井上 涼雅	3	1	0	0	1		西村 晴太	12	4	0	0	0				
11	坂倉 昂乃介	-	-	-	-	-	*	藤内 翔真	18	1	6	3	1				
12	和田 天祐	-	-	-	-	-		中井 楓弥	-	-	-	-	-				
13	後藤 亘貴	7	1	1	2	1		善山 莞太	-	-	-	-	-				
14	小林 祐	-	-	-	-	-		中西 飛翔	-	-	-	-	-				
15	佐々木 凌汰	-	-	-	-	-	*	東郷 然	15	1	6	0	3				
16	池澤 智史	-	-	-	-	-		前 和成	-	-	-	-	-				
17	松本 泰	4	0	2	0	1		下境 竜也	-	-	-	-	-				
18	中島 悠登	-	-	-	-	-	*	ソロモン レイモンド オ ネカチュク	12	0	6	0	4				
コーチ	吉田 裕司					0	コーチ	山崎 翔一朗					0				
Aコーチ	河合 祥樹						Aコーチ	奥田 翔									
合計		82	9	25	5	12	合計		69	6	23	5	11				
主審: 大溝 貴広																	
副審: 中村 公彦																	
副審: 片山 雄一郎																	



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	3:13	:	32:38	39:02	39:53	:

〔戦評〕
ウインターカップ京都府予選 決勝リーグ第2戦 洛南対京都精華学園の対戦

第1Q 洛南はハーフコートマンツーマン、京都精華は2-2-1から2-3ゾーンで試合開始。洛南はゾーンディフェンスに対し上手くパス展開をし、4連続スリーポイントを沈めゲームの流れをつくる。一方、京都精華は洛南の厳しいディフェンスになかなか攻めることができず苦しい展開、開始3分でタイムアウトを請求。その後、京都精華#32、#17の1対1や#77のゴール下で何とか食らいつき、20-14洛南リードで第1Q終了。

第2Q 洛南は#6、#17、#5の連続得点でゲームの流れをつくるが、京都精華も#77のゴール下や#17のドライブなどで応戦する。その後も一進一退の攻防が続く中、先に均衡を破ったのは洛南、#4が力強いゴール下で連続得点し点差を広げる。しかし、京都精華もなかなか入らなかったスリーポイントが連続で決まり流れを引き戻す。両チームとも激しい攻防が続く、京都精華#6がブザービーターを沈め、37-33洛南が4点リードで前半終了。

第3Q 開始早々、京都精華が1-2-1-1から仕掛けにかかり、スティールからの速攻などで流れをつくる。しかし、洛南は動じることなく簡単に反撃する。洛南#6ドライブインやゴール下、#5のバスケットカウントなどで一気に流れを押し寄せこのゲーム最大11点差をつける。このまま洛南に流れがいくかと思われたが、京都精華#13や#3など控えメンバーが活躍し、57-51洛南6点リードで第3Q終了。

第4Q 京都精華は#17の1対1で流れを掴みにかかるが、疲れからかフリースローが決まらない。一方、洛南は#5を中心に試合を選びゲームの流れをつくる。京都精華は開始3分たまらずタイムアウトを請求。その後も洛南は#13のスリーポイント、#6のドライブインで点差をひらけるが、京都精華も#32の1対1や#77のゴール下で粘りを見せる。洛南の攻撃が上手いれない中、京都精華#14のスリーポイントや#77のゴール下で残り3分3点差まで縮める。しかし、洛南は#5中心に冷静にゲームを展開し82-69で洛南が勝利を収めた。